リュウマのカゴウ
THE PSEUDONYM OF "RYUMA"
6
HIROKI MIYASHITA
宮下裕樹
YOUNG KING COMICS

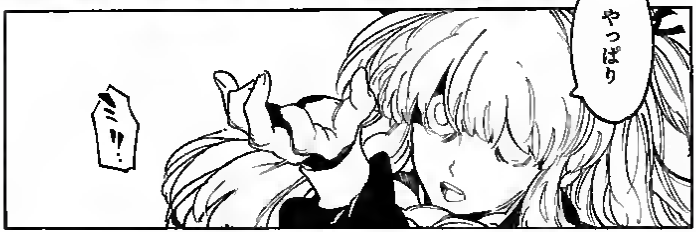
リュウマのガゴウ

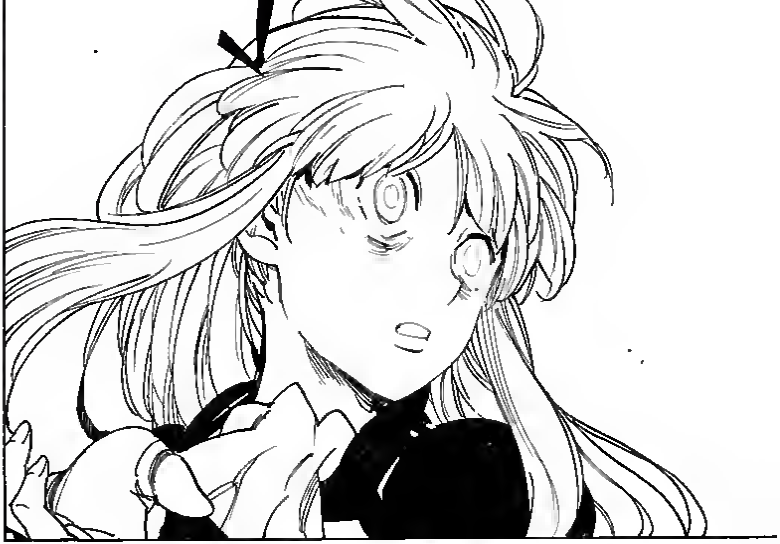
THE PSEUDONYM OF "RYUMA"

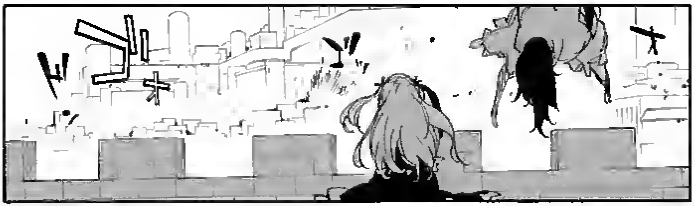
宮下裕樹
HIROKI MIYASHITA

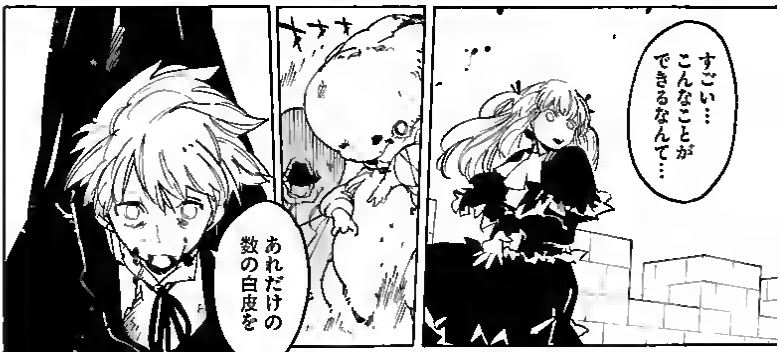
6

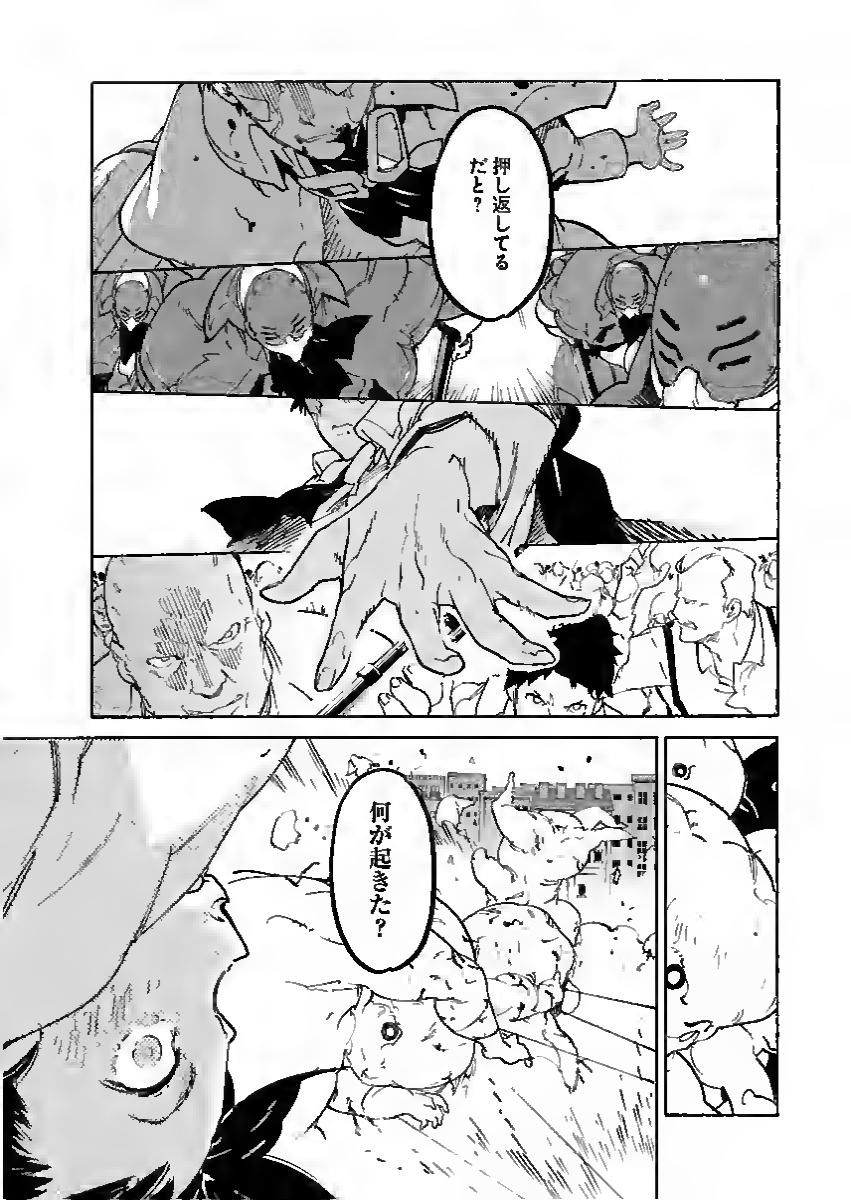
[第31話]







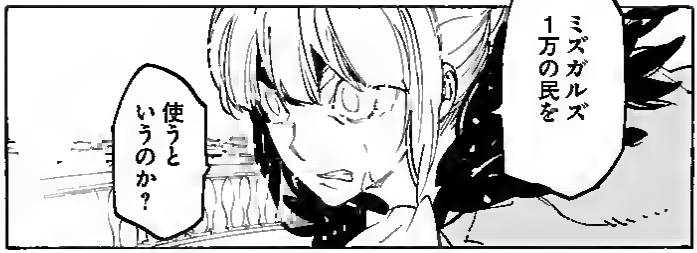

すごい…
こんなことが
できるなんて…
あれだけの
数の白皮を


押し返してるだと？
何が起きた？

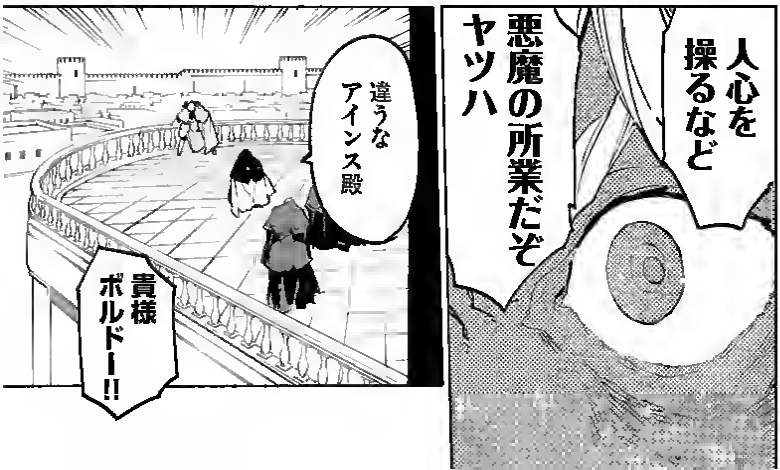
何をした？

そうだ

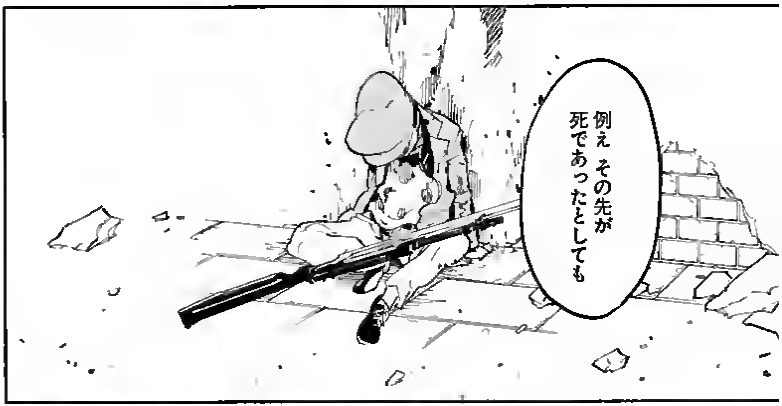
リュウマに必要なものは
怪力でも
技でもない
テレパスだって手段でしかない
必要なのは
人を動かす力


ミズガルズ
1万の民を
使うと
いうのか？

女・子供に
至るまで
難民も
平民
貴族
までも
共に
闘っている
というのか!?

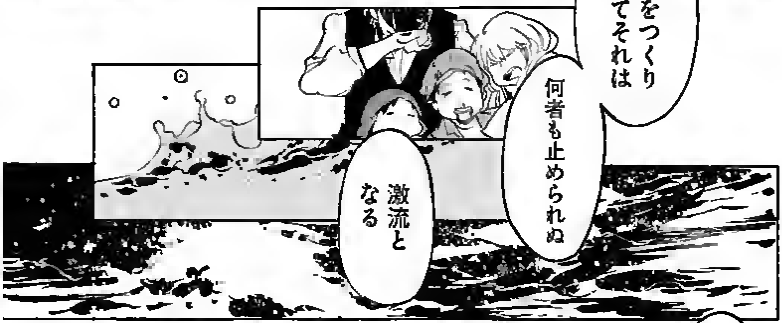

人心を
操るなど
悪魔の所業だぞ
ヤツハ
違うな
アインス殿
貴様
ボルドー!!

ヤツハは
きっかけを…
恐怖で暴った心に
正しく判断する
力を与えただけ

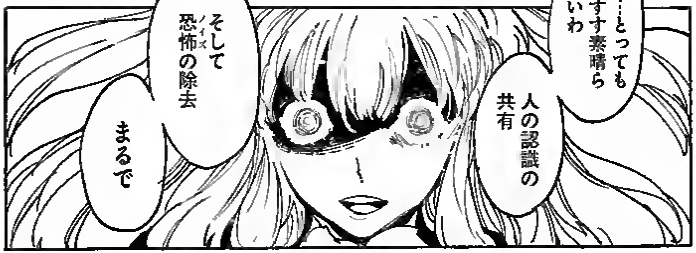

例え その先が
死であったとしても

それは
本人の意志
だが
ヤツハはその
勇気を…
無駄にしない
わずかな
時間稼ぎ
一つ一つは
かすかな一滴
だとしても

紡ぎ合わせ


流れをつくり
やがてそれは
何者も止められぬ
激流と
なる

これは革命だ
王政にとってかわる
新しい国の形だ
…新しい国……


と…とっても
すすす素晴らしいわ
人の認識の共有
そして
恐怖(ノイズ)の除去
まるで

そう
ゴォォン
ゴォォン
世界樹

あとは
時間だけの
問題だ
ヤツハが
どれだけ保つか
なるほど
精神感応
保持者…
繭の巫子か
なら その張りつめた
精神に負荷を
かけたらどうなる？
あ、
これを通して
見ているんだろ？
か
かめ、

なっ
なんだ？人の身でこの状況を凌駕するというのか
リュウマは

くだけない
ああ…
確かに…
聞こえた…
ドクン

聞こえた

この子の声が

ア!!

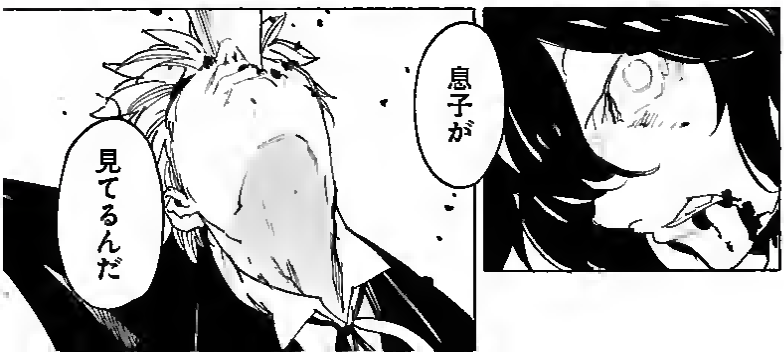
まだ大丈夫だって
まだ
一緒に闘えるって

このっ

約束したんだ

あの時に

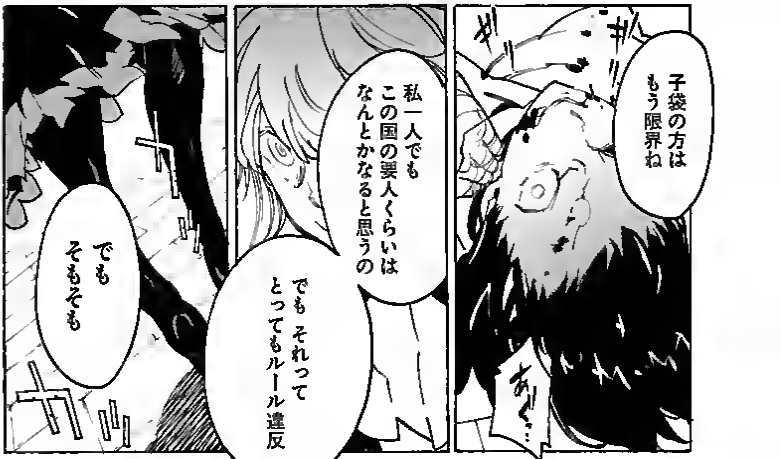
リュウマを
託(たく)すって


息子が
見てるんだ

恥かかせんな

どうやら私達
負けみたいね
そ…
それとも

痛み分けってとこかしら
せめてお土産は持って帰らないと


子袋の方はもう限界ね
私一人でもこの国の罪人くらいはなんとかなると思うの
でもそもそも
でもそれってとってもルール違反

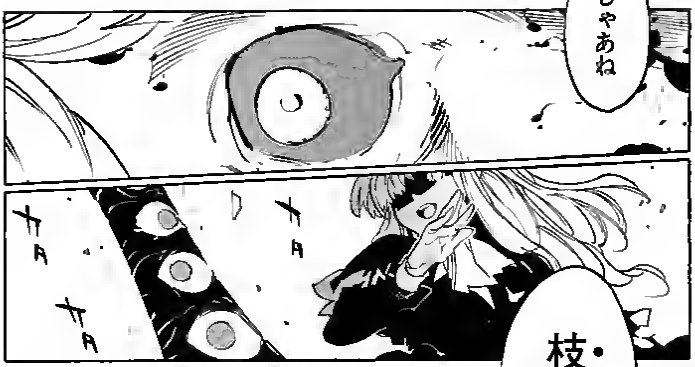
あなたの
一連の行動こそ
ルール違反だと
思うの
……
残念だけど
その身体って
もう駄目みたい
うん
枝に帰って
態勢を立て直し…
再び あの白皮を
培養しようと思ってる
のだろうけど

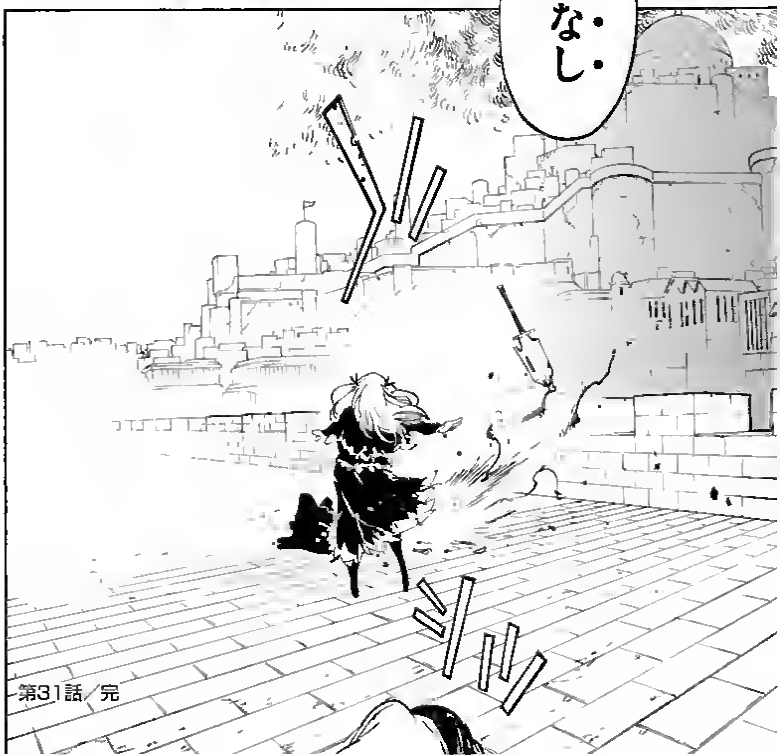
次なんてないよ
バ――カ
ミズガルズの軍勢の無線妨害の為のこの磁気嵐
少なからず私達にも影響があるでしょ？
しかもこの王都は枝から一等離れた僻地

あなたはとっくに
枝の庇護下から
離れてるの
もちろん
それを承知で独断の
侵攻なのだけど
あなたは今
自分の枝が
見えてる？
何が起きてるか
わからない？
この地響きが
何を示しているか
わかる？

おいおいおい
いなかったじゃねぇかよ

ズ
ジン





第31話／完

[第32話]
今回はこちらの干渉も大きかったし
こ…この辺が引き際だと思うの
でも一つだけ覚えておいてもらうわ

ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ

災厄（ジン）としては…
ね
ジン？
ジンだと？災厄のジン？
白皮にのっていた奴の片割れだ
白皮に？どういうことだ
全てあいつの仕業だってのか？
わかるものか…ただ普通じゃない
何者なんだ？何が起きてる？
何をする気だ？

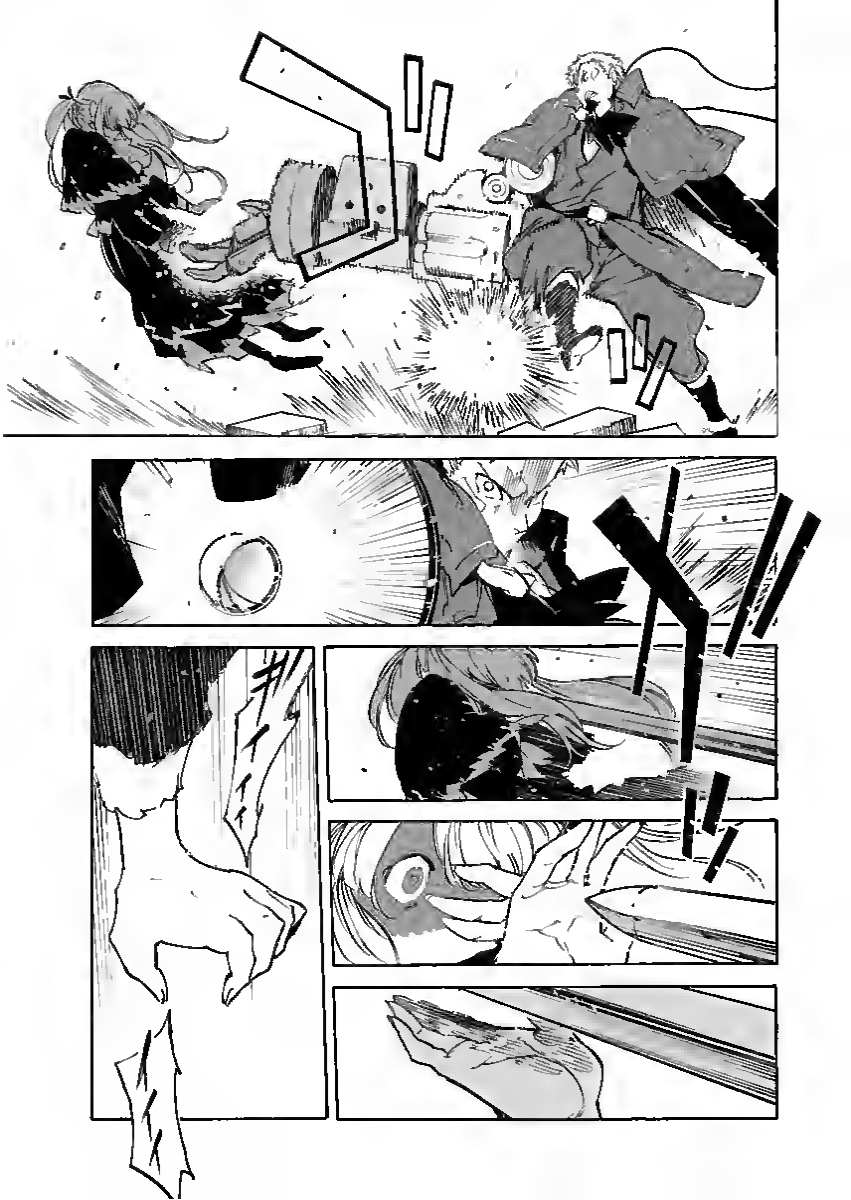
なんだ？
魔女だと誰かが言っていた…
あの女王の所にいた…
白皮とやりあっていたぞ…生身で
み…みみ皆に教えてあげようと思うの
っ…
やめろ

白皮の子袋だった
あなたの中の
コレが
一体何なのか

一体誰の希望で
誰の災厄となるのか

はやい…もう
あれほどに
成長を…
やはり…
人の子では
ないのか…
ざぁ
かえ…せ
だめ

かえせ
だめ

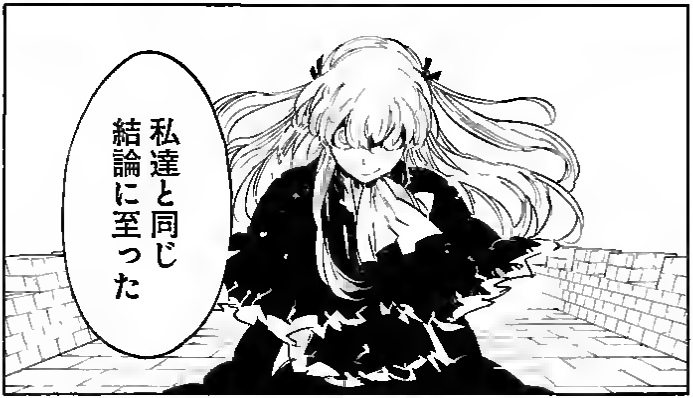

ギィィィ

あなたとは
はじめましてじゃなかったと思うの
あの時もこうしてあなたの義手を砕いたわ

なんとも
魅力のない
リュウマ
ガラ…
成長の余地も
ない
と思ったの
だけど…

ひ…ひひ
人は変われるもの
と言いたいのかしら

でも
あなたの成長は
特異すぎるの
人が皆そうなら
苦労はないと
思うの
だからこそ
あなたも


私達と同じ
結論に至った

人心を
誘導し
制御し
操った

黙れ

リュウマ

貴様等がした
滅びの選択と同じにするな

交わったんだ？
ぴぐ

あの生意気な副官
萌と
死の淵で

記憶（メモリー）を
見て来た？

リュウマの
はじまりを
ジンの反乱を

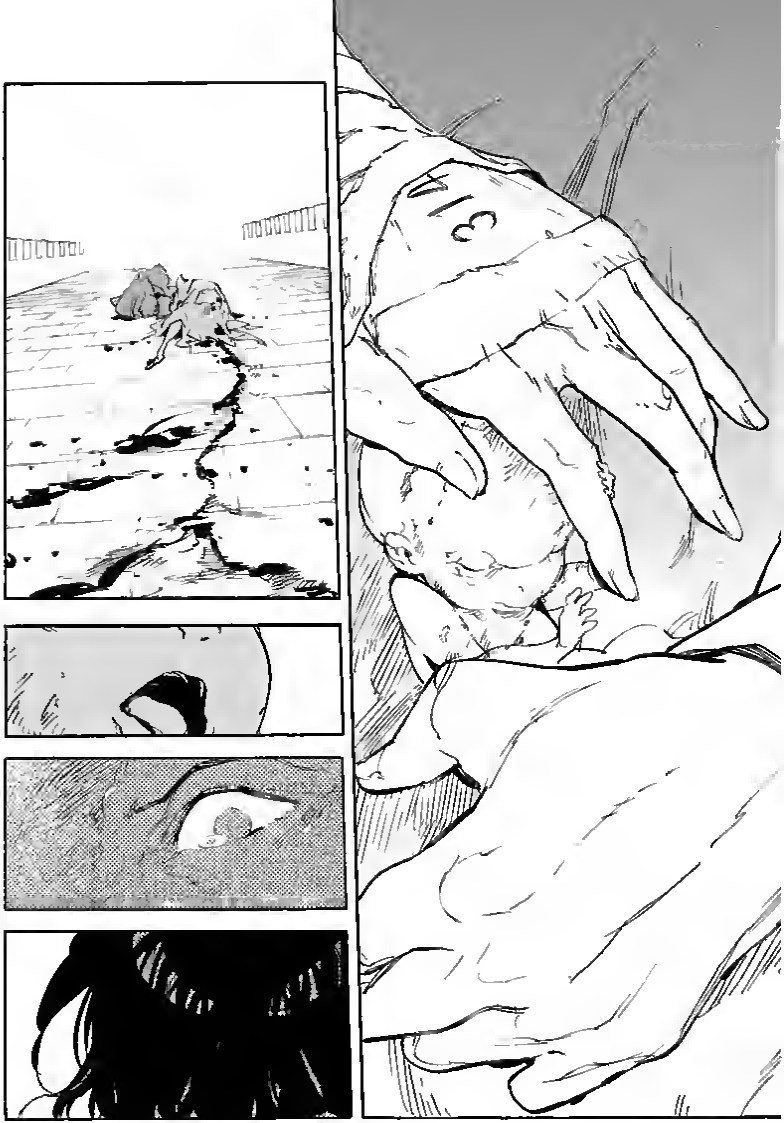
いつまで
その身体を…
その人を辱める
気だ？

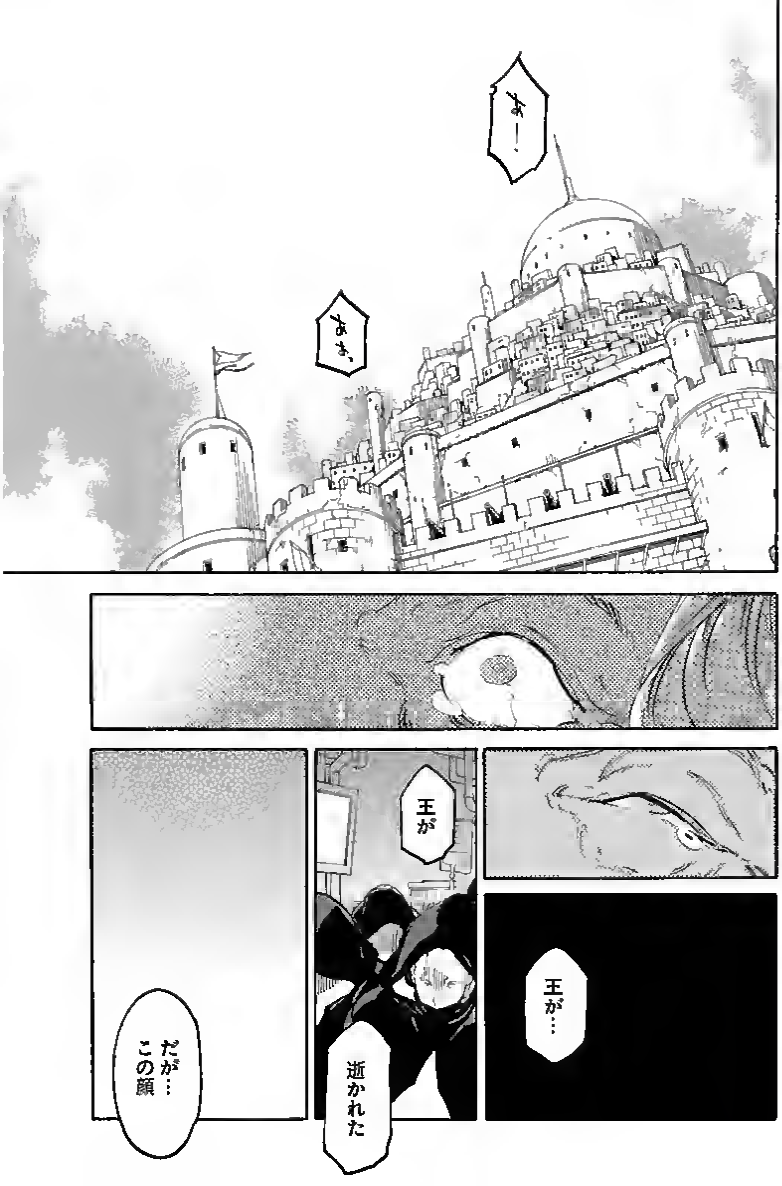
この世の
果てまで
駄目
これ以上は

私も
過干渉せざるを
えなくなると思うの
やっぱり
ここまでみたいだわ

ドッ
タン

だ…
誰かっ!!
この子を…
息を
してな…い




あー！
あぁ。
王が
逝かれた
王が…
だが…
この顔

笑って
おられるのか？

アインス様
藺王様に続き…
現王も…
崩御されました

何の
つもりだ？
事故とはいえ 王を
斬りつけたのだぞ
…私は……

もうこの国には
それを咎める王族が
おりません

王妃も王が全て
毒殺され
王族派の連中は
この混乱の中
早々に逃げ出し
残った貴族達も
この富豪将が
掌握しております

王なき今
我々ブシドーは仕えるべき
お方をあなた以外
知りません
必要なのです

この国には英雄が
ならばふさわしい者がいる…
なりませぬ
あの者達は民の前で呪いがかけられたのです
産まれ落ちた子も
半分は化物…
そして残りの半分も

今となっては…
王族の血は
邪魔なのです

革命は
なった
だが
ままならぬ
ものだな…
ヤツハ…

呪い…か

ああ…
わかってる…

それが例え
呪われた名だと
しても

それでも
やはり
この子の
名は…

第32話／完

リュウマのガラクタ

リュウマのガゴウ

［第33話］
人は大地の
十分の一を失った

理由はくだらなく
愚かにも
大量破壊兵器の暴走

その大穴は
マントル層の大変動を
揺り起こし
地殻の火山活動を
もたらした

大気上層にまで
いき渡る粉塵

5度の滅亡が
想定される程の
大災害

人は遣らざるを得なかった
ありとあらゆる資源と
英知を注ぎ込み

この世界の
歪(ゆが)みを正す
楔(くさび)を

7本の「枝」と
「世界樹」

そして
完全都市
「ユグドラシル」を
それが
どんな歪(ひず)みを
産み出すとしても
造らざるを
得なかった
故に

人は今なお
争い続けていた

くそ!!
こんな所で
奇襲だと!?

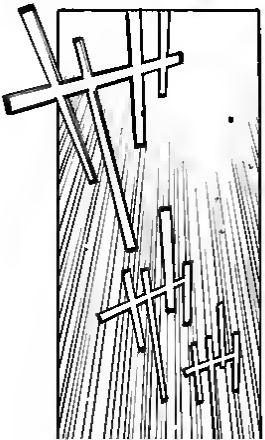
神州倭(かみすわ)の
蛮族が!!

全ての資源を
使い果たし
だからこそ
繰り返される
原始の闘争
歪な戦争
なりません!!
レールガンの
死角を
知ってやがる
かかって
きやがれ!!

帝!!
何故 戦場に…
危険です
でも これ以上
ユグドラシルに
近づけるわけには
いかないし
「神州倭」は
あなたを狙って
いるのですよ!!
帝!?
バカな
前線だぞ!?
新入り!!
バッテリー!!
何
やってる
!!
さあさあ
来い
お前達が…
神州倭の
つわものども!!

「龍馬」と呼ぶ男は
ここにいるぞ

わわっ
お戻りを！
帝!!
リュウマと
呼べ!!
奴等に
届くように
帝お!!



龍馬
ああ!!!
龍っ
馬あ!!
神州倭の武器
「物欲し竿」
帝を
お護りしろ
奴等の
人造刀には
魔が宿るぞ!!

3段突きっ
近衛師団の
オートアーマー
3体を一瞬で
やばい
突破されるぞ
確かに
すさまじい
オレは そこまでの
使い手を
見たことがないぞ

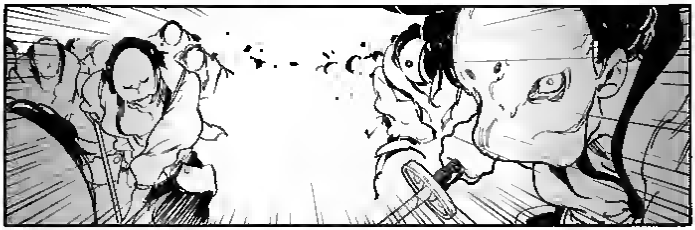
一人を
のぞいては

仁(じん)っ…
あれは…
物欲し竿
じゃあ…
あの男が

泣き殺しの
ジン

ジン！
あれがジン！
ジン!!
貴様 帝を
囮に
しかも
足蹴にするなど!!

待て
帝を
お護りしろ!!
ジン!!



泣いて命乞いをする者を
無慈悲に斬り捨てたとも
返りへばりつく血が
涙のようだとも
異常なまでの
功名狂い
それが
ジン
そして

失われた
神州倭の出自
仁(じん)

つまり

あの死体の山は
あの人にとって…
同胞

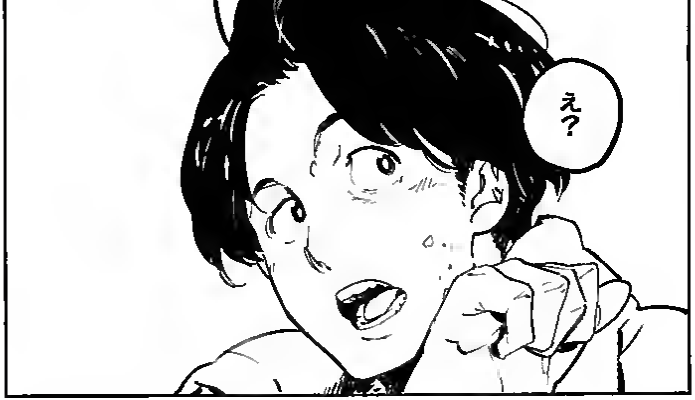
何故…
副長
ついて来い

7番隊!!
ジン様に
遅れるな!!
は!

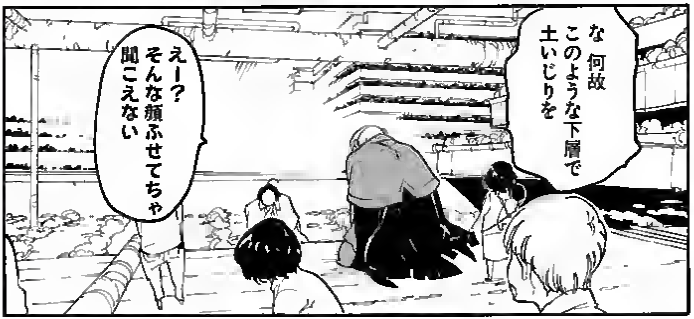
確かに
神州倭から
亡命してきた者はいる

救世のリュウマと災厄のジン

その始まりの記憶


え？

恐れ
多くも帝
きゃはは
わぁ
わぁ
きゃっきゃ


な 何故
このような下層で
土いじりを
えー？
そんな顔ふせてちゃ
聞こえない

ですから…
その…
こら!!
帝を直接みる
んじゃない
えー
…
リュウマ様
あれやって
いつものあれ
おばけ
いつもの!?
いつも来てる
んですかっ
いつもの→
おばけ
はは

ってリュウマ
などと…それは
神州倭の隠語
いいのいいの
帝だのなんだのじゃ
皆 恐縮するんだから
こうやって
地に足をつけて
民に会うと
見えてくることも
あるんだって
し
しかし
リュウマー
リュウマー
なんで
リュウマー?
いいだろ
気に入ってるんだ
たとえば
この土で作った
作物
シャグ
まずい
帝!!
そんなものを
食してては

〝そんなもの〟を食してるんだよこの子達は
もり
もり
でも細菌集団（マクバイオーム）の汚染除去だけは上々のようだ
！
失った大地の影響
また磁極が変化し生産ラインが滞っている
ファームからの供給を増やさせよう
なんせこのケインにも弟ができるからね

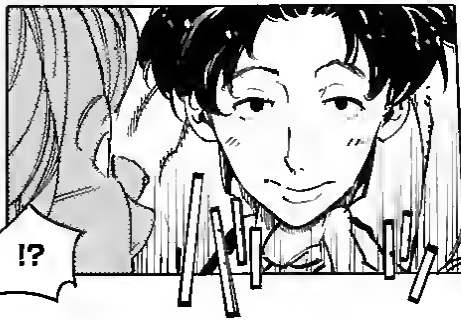
さらにそこのヘンリーの一家には双子が産まれる
あマリベルの所にも
ハルベリーの所は育ち盛りが3人もいるし
帝っ
…大丈夫まだなんとかなるさ
！

なりません
これ以上…
下層への供給は
「いる」と
気付いたとたん
この圧力…
ひっ
うわあああん
まったく…
かたいなあ
ジンは

大丈夫
遺伝子組み換えの
実験用ファームがあるだろ
それをまわせば

そう言うな…
っと

帝の意に
沿います
もとより私の
考えが通るとは
思ってません


!?

えーと君…
なかなかいい素養がありそうだ
君とはまた会えそうな気がするな
上で
これはメモリ…
…
…

滅亡を前に
確かに人類は
一丸となった…

この枝をつくるために
一所に集められた資源
その枝のたもとに造られた

帝国連邦
完全都市
ユグドラシル

世界は再び
歪みを生んだ

神州倭を含む
東亜圏は
その枝の恩恵が
届かなかった

東亜圏は
切り捨てられたのだ

神州倭が連合に
反旗をひるがえすのは
当然ともいえた

独占され
奪われた資源
「枝」をもとめて

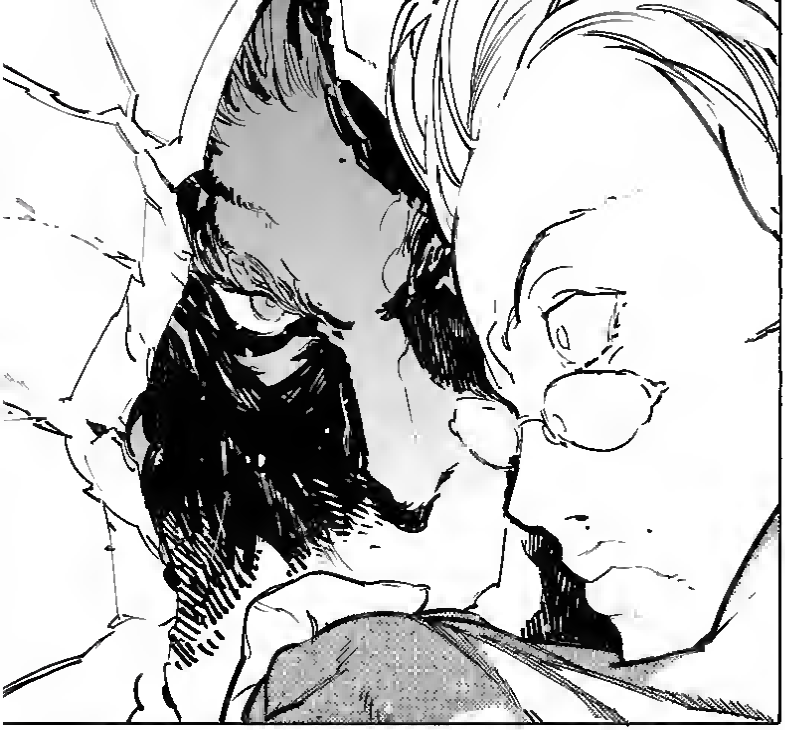
それでも
帝国連邦
完全都市
ユグドラシルは
止まるわけには
いかない
世界のために
人類のために
…す…
すごいな 枝の
上層のトイレは…

使えるか
あんな贅沢
僕が管理官に
上りつめた
あかつきには
こういう所から
削減を…
リュウマ様に
進言し…
メーン
カッ
たしか下層用の
トイレがこの辺に
recycle
資料で
見たはず…
ここだ

しかし このままいけば
リュウマ様に
謁見できる日も
遠くない
憶えて
らっしゃるだろう
か…
カチ
ズゼゼ
…
ぉぉぉ
っというか あれから
何度となく民と戯れる
リュウマ様を見てるの
だが…

ん？
誰か…いる？
やばっ
この浄水弁
ぶっ壊れてる
Out of order
故障中
つうか ここ
だから人
いないのか!!
ガラッ
!
あの どなたか
ここは使用禁止に
なってますよ
オレも
だけど
ゴン
!
おいっ

ふぐっ
がた
なんだ!?
まさか…神州倭のスパイ!?
まさか
そんなことが
いや
しかし…



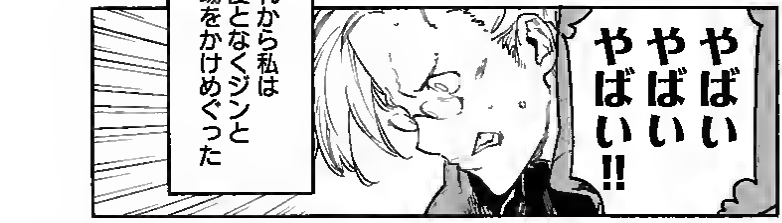
うわあぁぁ!!
だらん

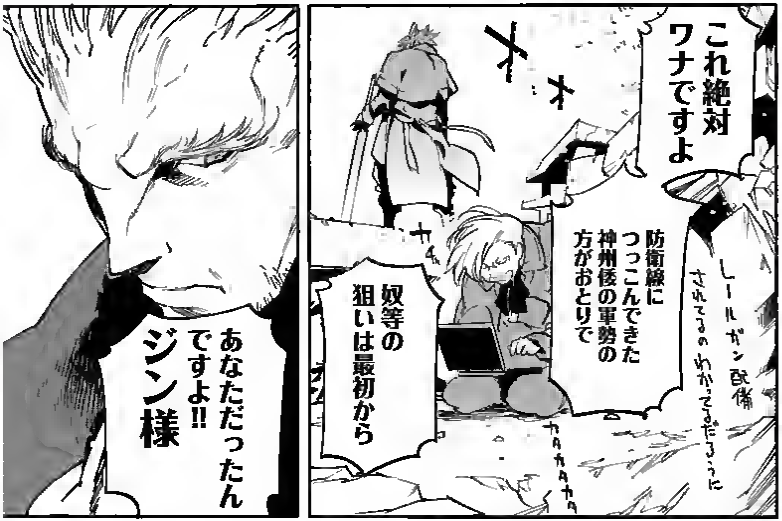
あれ…？
今のって…
ジン!?
目が…
赤…
涙 泣く？ トイレで
ﾋｸｯ…
ぐじ
他言すれば
殺す
他言？
何を
ﾂｯ
ぐじ
泣いていた
こと？

泣き殺しの
ジン
!
夢
…じゃあ
…ない
!
……
やばっ!!!これ
初日から
遅刻だ!!
こうして私は
ジンと

リュウマに
出会った
敵襲!!
3番隊!!
出れるか!!
神州倭だ!
どうやって
包囲網を
抜けた!!
申し訳ないが
まだ枝を折らせる
わけにはいかない
そう
思うんだ…

[第34話]


やばい
やばい
やばい!!
あれから私は
幾度となくジンと
戦場をかけめぐった


これ絶対
ワナですよ
防衛線に
つっこんできた
神州後の軍勢の
方がおとりで
奴等の
狙いは最初から
あなただったん
ですよ!!
ジン様

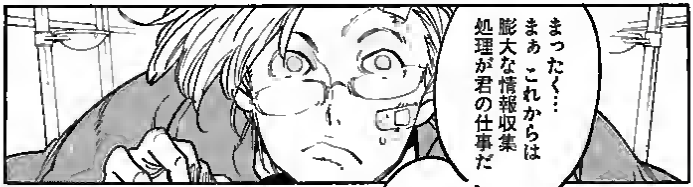
我々2人だけ…
7番隊とも
切り離され
てるし
7番隊は
私がひかせた
え!?
ちょっと!?
7番の副いや
隊長…あれは
アホだ

私のために死にかねん
たしかに7番は…
ってまさか
それを見越して
〝また〟私を
巻き込んだんじゃ
ぐぬぬぬぬぬ
さあな…
それより
帳簿屋
予想齎薬
500
神州倭駐留軍
に流れた兵糧
40
そこから
割り出される
敵兵追っ手は
200
物欲し竿
所有者
3名
神州倭はこのために
おとりとはいえ
多大な犠牲を
出した
あとは逃げれば
いいってわけだ
そんな
簡単な
話じゃ
カ!!
!!!

生きて
戻れば
特進だ
帳簿屋ッ!!!

ジンから聞いてるよ
君…えらく優秀らしいじゃないか
って
なんだいその挨拶は

何度も
顔あわせてる
だろ!!
君が外で
覗き見
してたのも
知ってるぞ
ぐい
ぐい
下僕で


まったく…
まぁ これからは
膨大な情報収集
処理が君の仕事だ

それこそ
繭のように籠って
もらうぞ
副師団長

僕はこの時
近衛兵団
副師団長にまで
上り詰めていた

記憶力と
統計分析には
自信があった

言ってしまえば
このユグドラシルは
実験場だ

いかに人類を
生き残らせるか
枝を使い「世界樹」が
管理をする

あらゆる可能性を
模索する実験場（ファーム）

軍需も
そうだ

僕は確信
していた
この分野で
のし上がれると

新任の
副師団長
楽しそうだな

なんか一人言
言ってるし

隊員全部の住所から
弾丸の数まで
把握してるって

ついたあだ名が
忘れずの前

帳簿で
成り上がっただけの
ことうるよな

長かったここまで…
数多の戦場を
駆け巡らされ…
ジン様に

近衛師団
各隊長共を
出し抜くの大変
だったな～

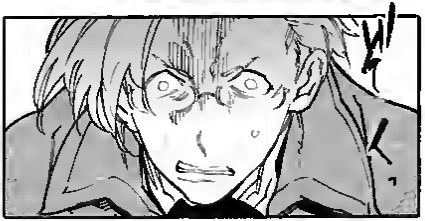
武勲がたてすぎ

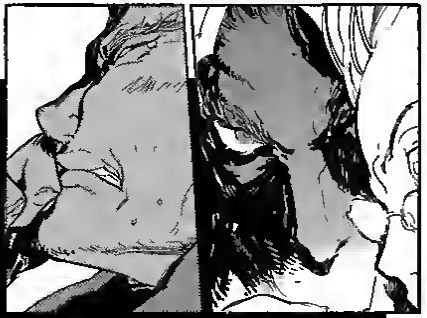
だが…
そんな中で
際立つのは

ジン様の
武勲

積み上がるは
死体の山

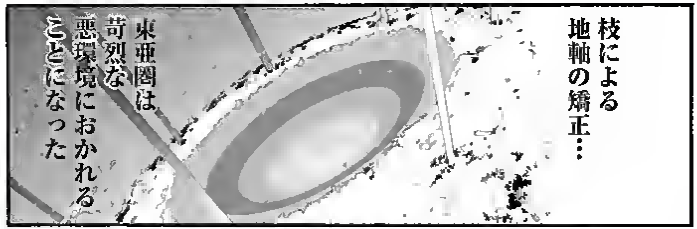
その屍(しかばね)はかつての同胞
神州倭(かみすわ)





何故あの人は
ここに…

そもそもに
この世界が
狭過ぎる



この状況を
誰も予想
できなかったのか？

いや
滅亡すら
考えられた
混乱の中だ

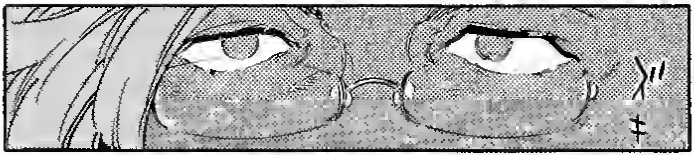
ズキ

むしろ
英断だったのだ…

帝(みかど)の決定は

ズキッ

仕方のないことだった



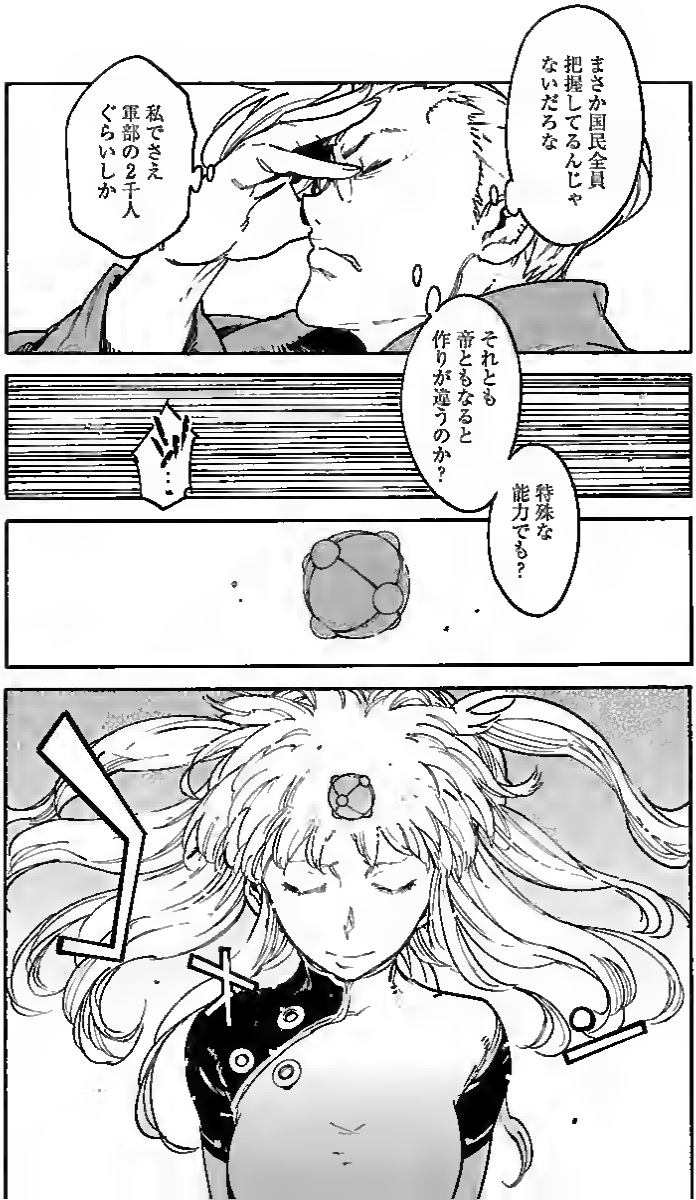
世界は
狭過ぎた

エネルギーだって
食料だって
環境だって

むき出しになった
地殻中枢を使った
新たな発電体系

新種による
食料源の確保

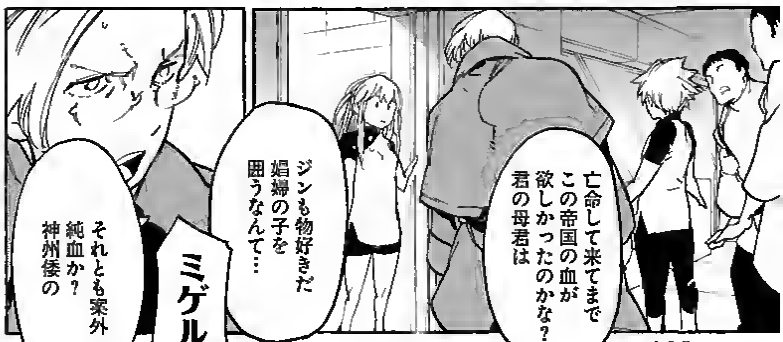
いつだって
帝の決定は
正しかった
！
な
リュウマ様
今度は
B地区…
また下層に
あぁまた
あんな親しげに
一度や二度じゃ
ないな！
警護班！
リュウマ様が
抜け出して
いるぞ
すぐにB地区へ
迎えに！
よくもまぁ
これだけ顔見知りに
なれるものだ…
下層には神州倭からの
亡命者だって
いるってのに…
たしかに…
疫病の早期
発見とか…
特殊な血液型
の輸血に
役立ったり
してますが…


まさか国民全員把握してるんじゃないだろな
私でさえ軍部の2千人ぐらいしか
それとも帝ともなると作りが違うのか？
特殊な能力でも？

シークエンス
終了です
シンシア様
カン
キン
現在の所は
念動力と
区分できますが
まだまだ未知の
部分が…
しかし「枝」のヒト柱
生体素子としての
十分な適性を
有していると言えます
…
さすがジン様の
ご息女
はっ

その程度の数値で
もう枝の中に入れるつもりじゃないよね？
まして神州倭の混血を…

ミゲル!!よしなさい
皆思ってるじゃないか？
〝触れなくても〟聞こえてくるよ…枝が血で汚れるってさ


亡命して来てまでこの帝国の血が欲しかったのかな？君の母君は
ジンも物好きだ娼婦の子を囲うなんて…
ミゲル
それとも案外純血か？神州倭の

だったら
どれほど
よかったか…

……
ちっ
……

父は誤解
されやすい
人です
…もちろん
誤解しかされない
ようなことを
しています
いえ…そもそも
人殺しです…
どんな言い訳も
できないのは
わかっています

帝国連邦は
神州倭からの
亡命者を受け入れ
ている

失われた
神州倭の大地に対する
帝の慈悲

だが…

亡命者への
風あたりは強い

あたり前だ

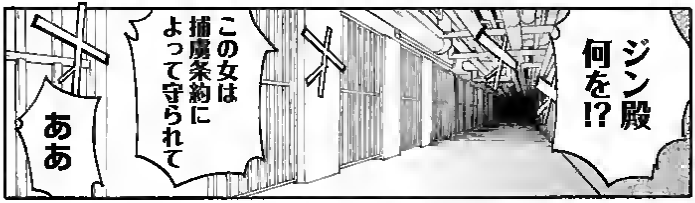
敵国だ

そんな中で

近衛師団長まで
上りつめることは

本来
考えられない
ことだった

その答えの一端を
神州倭の女兵士が
教えてくれた
しゃべったのか？
神州倭の
捕虜が
情報を
吐いた？
ガシッ
一体
何をした
ジン殿!!
どうやって
口を割らせた
仁…
じん
武王
武王


ジン殿
何を!?
この女は
捕虜条約に
よって守られて
ああ

神州倭の
武王
枝が出来て以来
混乱し続けた
神州倭をまとめあげたと
いわれる英傑
それが このジン
だというのか

だとするなら

つまり

武王は自分
かわいさに

帝に
国を売ったのだ

帝国連邦に
旗色悪しと
見るや

自分の安全と
約束された
地位を
引き換えに

武王が持ち込んだ
情報は

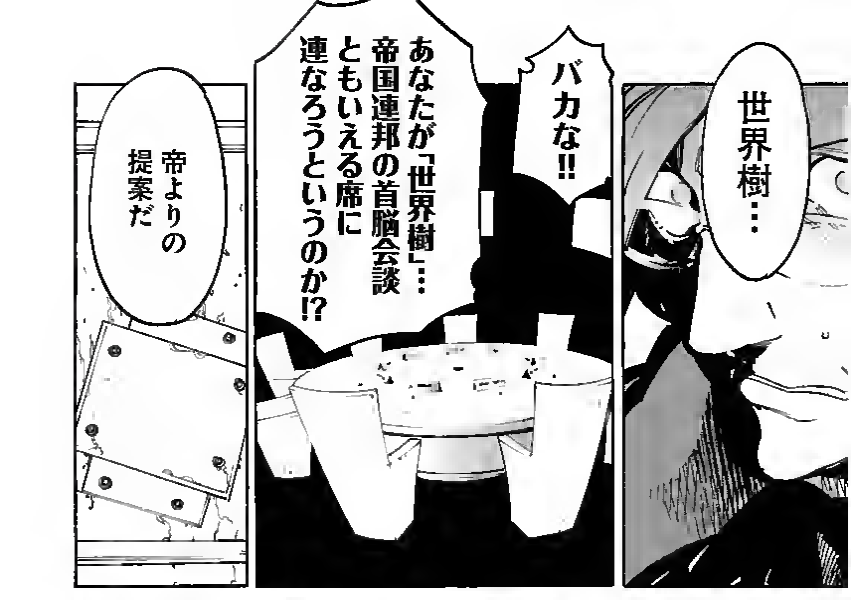
帝国連邦に
常勝をもたらす
ことになったのだろう…

ジンの武勲も
当然の結果

最低じゃないか
ただ個人が亡命しただけならまだしも
王が国を捨てるなんて
理解できない
recycle
そんな
そんな男が何故
何故

今さら何故
泣くのです…

繭
帝国連邦
リュウマの決定が
絶対のこの世界で
その
絶対を
覆すと
するなら…
!?
どうする？

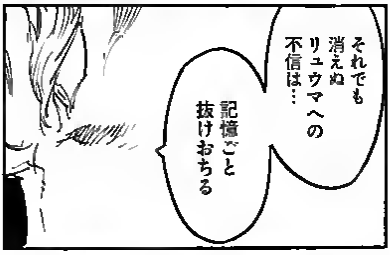

世界樹…
バカな!!
あなたが「世界樹」…
帝国連邦の首脳会談
ともいえる席に
連なろうというのか!?
帝よりの
提案だ

和平を
終戦を望み
帝の決定を
覆したいの
なら
「世界樹」に
席を連ねろと
「世界樹」
その席に
国・思想・人種は
問わないのだ
そうだ

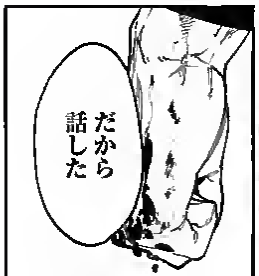
求められるは
断固として
折れぬ心
成し遂げる力
永劫の憎悪の
果てに辿り着く
答え
己が
目的のために
帝国連邦に歯向かう
かつての同胞を
全て斬り伏せて
なお起つ
精神力を

うそだ
そんなものを
食してるんだよ
この子達は
それじゃあ
世界樹に連なっても
国が滅ぶ
非戦闘民
非戦闘民だけは
助かる
信じられる
ものか…そんな
！
信じられないのも
当然だ
君達は

そういう風に
管理されて
いるのだからな

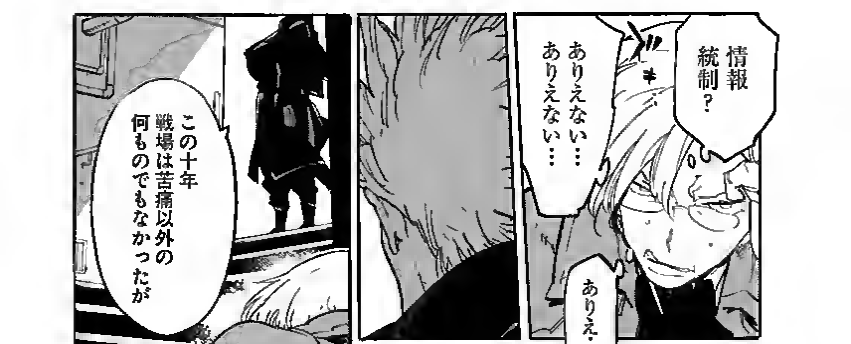

それでも
消えぬ
リュウマへの
不信は…
記憶ごと
抜けおちる

今
この
話すらも


だから
話した

これは
懺悔だ
さらばだ
ガシ

さ…
「さらば？」
ガ…

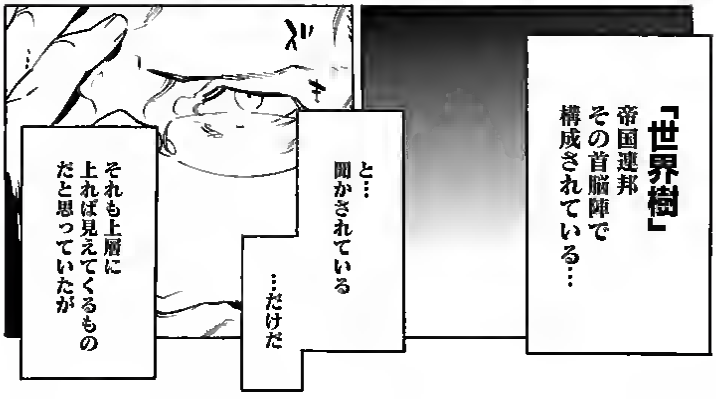

情報
統制？
ありえない…
ありえない…
ありえ…
この十年
戦場は苦痛以外の
何ものでもなかったが

君を連れ回すのは
なかなかに
楽しかった
あなたは
わかって
くれる
人だから…
これはメモリ…

第34話／完

［第35話］

世界樹
それは
ユグドラシルの
最高決定権を持つ
帝
その帝に
上申する事案を
審議するための
査問機関
この世界で
唯一
帝に政で
介入を許された
機関


「世界樹」
帝国連邦
その首脳陣で
構成されている…
と…
聞かされている
…だけだ
それも上層に
上れば見えてくるもの
だと思っていたが

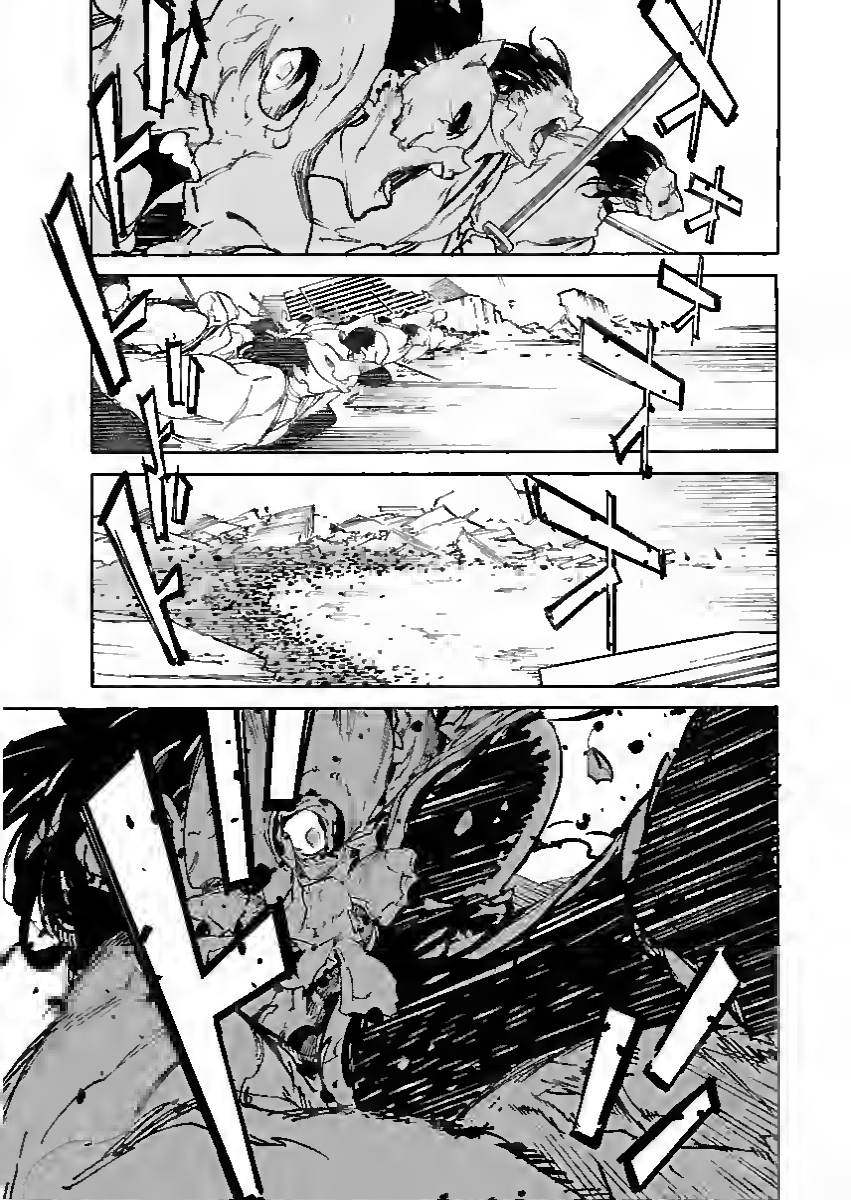
近衛師団副官
にまで上ってなお
不透明…
そんなことにすら
気付けない
なんて
弾薬の
在庫は!?
至急
7班に送
らせろ!!

いつから僕は
思考を止めて
いた?

いつからこの国は
思考を止めている!?

副官!!
なんだ?
間もなく
神州倭駐留軍に
我が軍1万が
接触します!!

わかっている
それが各部隊の斥候からの情報が
何!?
こっちにまわせ
神州倭だけじゃなく東亜各国の兵が集まってます
すごい数です
うそだろ…
かつてないですよこんなの…
その数…およそ100万
ジン



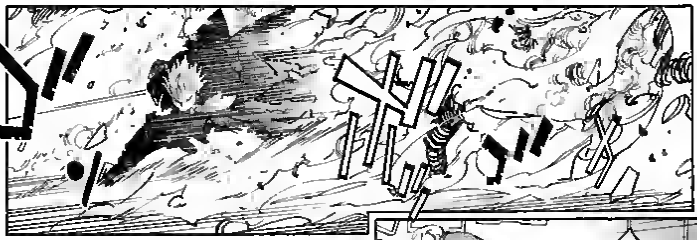
仁
神州倭の武王
帝国連邦から切り離され
乱れる東亜諸国に

武と知を持って
秩序をもたらした
賢君

その英雄と
!!

彼らは
何を思って
戦うのか…

仁は
何を感じて
同胞を
斬るのか…



レールガン着弾!!
ジン様が第一波を
突破します!!
しかし後続が
追いついて
ないもよう!!
神州倭本隊と
ぶつかります
ああ!!
あの方は
また一人で!!

そうだ…
ジン…
戦場で
出会ったなら
全て斬りふせる
そういう
約束だ

難民だろうと
女
子供
だろうと

ああ…

ジン

どうか私の
価値観を
変えてくれ

そこにあったのは
神州倭の駐留軍とは
名ばかりの

神州倭からの
最後の大難民
だった

数万いた難民は
数百人に至るまで
抵抗を続けた

勇猛な神州倭
故の惨劇…

胸くそ悪い

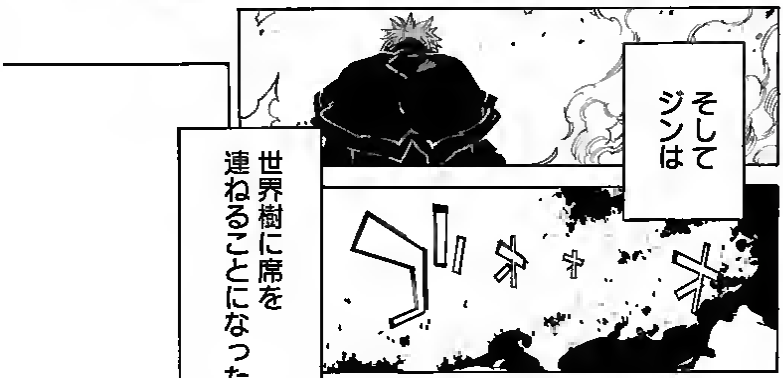
自分で斬り倒して
泣いてやがる…

功名狂いが
……

いい女も
いたってのに

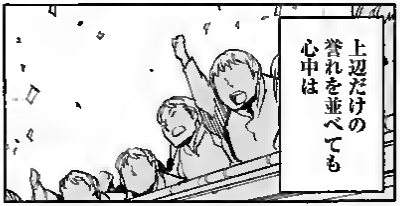
バラバラに
しやがって

パッ
ゴゴゴ
目が
目が


そして
ジンは
世界樹に席を
連ねることになった

英雄
勇者
救都の守護者

めでたいものか


上辺だけの
誉れを並べても
心中は

恐れ
妬み
侮蔑の嵐
結局は劣悪な
環境下にある
東亜・神州倭を
相手に
殺戮を
繰り返しただけの
戦争

そして
その真実を
知り得る者は
極一部
ｷｨ…
ﾃﾞｷｯ…

その事に疑問を
抱く者は
僕だけ

管理されているのだ
出産
エネルギー
食料
環境
戦争にいたるまで
おそらく…

世界樹に
仁
理解してほしい
私の役割と
いうものを
ﾊﾟｷ
私の選択が
〝種〟のために
必要なものだと
いうことを
ﾊﾟｷ

君だって
承知のはずだ
私を「龍馬」と
呼んだ君達なら
龍馬
〝恐れられる
馬〟
スレイプニィル
世界樹の
別称
神州倭では

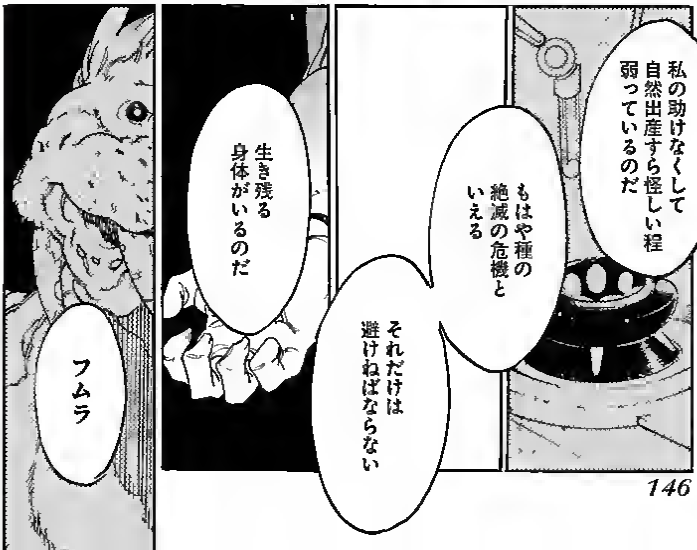
並列型多大脳構造体（マルチスレッドセレブラムメガストラクチャー）「世界樹」のことを
「リュウマ」…と……
そうだったね 神州倭の技師も 共同開発に 関わっていたか
彼らは器用だったからね
人は
惑うものだ

特に ただ一人の
人間の判断
だけではね…
天才のひらめき
研鑽された思想
限界の経験
それらは種にとって
累積し共有すべき
財産といえる
もったいない思考の
神州倭らしいと
いえるシステム
なわけだ

首脳会談
というのも
間違いではない
いや
むしろ攻的駆け引き
などない
純粋に「種」の
繁栄を求める
ことができる
ここからが
本題だ

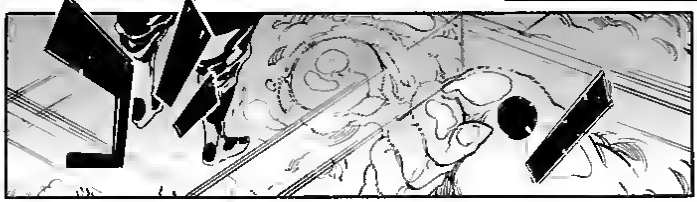
「種」を第一に
考えた結果

より強靭な
生態に
人類を入れ換える
ことが決定した


私の助けなくして
自然出産すら怪しい程
弱っているのだ
もはや種の
絶滅の危機と
いえる
それだけは
避けねばならない
生き残る
身体がいるのだ
フムラ

あれも
一つの過程で
出来た
産物でね
そして
フムラの成功は
次代種の
足がかりとなった
まだこれらは
アルビノ
生成は中途だが
メドは立った

大量のサンプルが
期間を劇的に短縮させてくれた
これに関してはよかったと思ってる
神州倭の民に未来の可能性を与える
君の要望にも応えられた…



もちろん
私とて
今の人類に
愛着だって
ある
だが世界樹と枝の
保護は有限だ
答えは
出ている
しかし
それでも

敵国の王である
君ならば
私に新たな
着想・価値観を
与え
世界樹の決定を
くつがえす
可能性がある
うらまれ
なじられ
いたぶられ
嫌われ
それでも
民を救わんとする
君の心

未来のために
！

私は
神州倭のジン
知っての通り
世界樹に連なる
つもりだったが

気が変わった
反乱（クーデター）だ
わかるか？

みなごろし
鏖だ!!!

キャあああ
リュウマ様がリュウマ様が
どけ
どけ
ジャーナ女オ
ははっ
やってくれたねジン!!
いいよ
一度あんたとはやりあってみたかった

はっ
なるほど今日から
最〝凶〟の称号を
名乗ろうってわけか
〝7番の〟

そうだった
そうだったね
あんたは
神州倭との混血
ジンの反乱に
同調しようって
わけだ
蛮族の血は
消せぬという
ことか
黙れ犯すぞ
〝10番の〟

ボ
ゾ
司官!!
ジン様のクーデターに
同調したのか
各地で一斉蜂起が
第2・3閉鎖区
第4・7区
もだ!!

その全てが
神州倭からの
亡命者です!!
ボ
父様…

第35話／完

［第36話］

仁武王(ジン)…私は
愛しているのだ
人も
この次代種も…
私にとっては
等しく「種」の
未来なのだ

君の価値観で
この考えに
改変を
もたらすような
霹靂(へきれき)の
閃(ひらめ)きを…
私に与えて
くれないか？

ずっと考えて
おりました

あなたにとって
守るべきは「種」
神洲倭 いや
東亜全ての難民を
受け入れれば
この帝国連邦と云えど
崩壊は
目に見えている

種の存続において今
必要なのは「間引き」
そのための
「戦争」
他国の私が世界樹に
連なる事で
その間引きを
少しでも抑え
一人でも多く
民を救えると
信じ…

私は…
多くの犠牲に
目をつむった…
理解など
いらない
ただ
救いたかった
わかってる
君が
その為だけに
世界樹に連な
ろうとしている
ことは
その全てが
君の誠実さを
物語っている
発汗
体温
脈拍
さあ…

ですが
たった今
気が変わりました

つまるところ
貴様と同じに私は
救う為と切り捨てた
ならば同じだ
何も変えられはしない
何も…

なにも…

何なんだ
これは…
意志もない
肉塊

意志は
これから
付与すればいいだろ
拒むか
では残念だが
結論はでた

次代種に
この星を
明け渡す
枝よ
この星の
軸を
軌道を
破滅へと
誘おう
人が
生き残れぬ
死の星へ

氷河の時代の
到来だ
ゴゴゴゴ
ゴゴゴ
!
知らぬ
君でもないだろう

私は
ただの端末だ
もやは誰にも「枝」は
止められない

帝国連邦管理
万能軌道修正杭（オムニポテント・オービタル・ストーク）
通称「枝」
修正杭直下
中央管理都市
「ユグドラシル」
そこで
真実を誰も
理解せぬまま
異変は始まった

みなごろし
蠱だ
リュウマ様が
帝の慈悲をこんな形で…なんて男だジン
災厄だ
凶者だ…狂ってる！

神洲倭の亡命者が
クーデターだと!?
やはり蛮族か恥知らず共が!!
七番のっ
とち狂ったようだな!! 大将はぁ!!

もとから
そのために帝に
近づいたか!?
ギャリ…
やるねぇ
この真空の
刃を受けきるとは

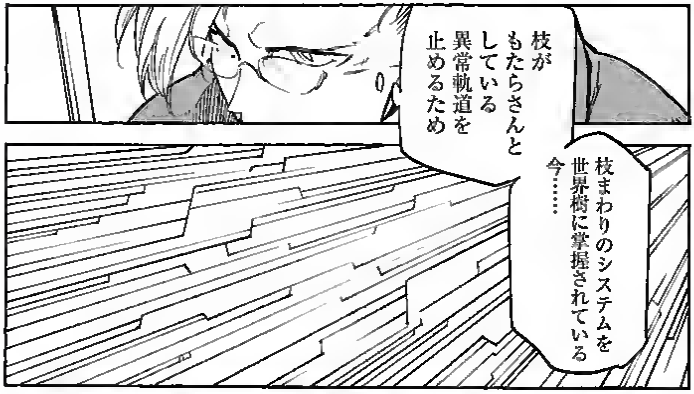
仁様…
緊急時ゆえ
お許し下さい
御刀使わせて
頂きます
赤い
物欲し竿
それが
真打ち
神洲倭
万人斬り

しかも2振り…
狂ってるよ…あんたも
ゴゴゴ
あんたの大将も
亡命者共も
オオオ
オオオ
つ…
狂ってなどいない

頭上
私が世界樹の祭事に出席してる時
管制のシークレットサーバーにアクセスしろ
私を取り込むために
罪は解錠されている
取り込む…
並列型多大脳構造体「世界樹」に…
世界樹の決定…
次代種による種の入れ替え
狂ってなどいるものか
枝の持つ
地軸公転軌道の矯正機能による
人の滅亡

枝を折る気だ
千年の汚ゾロと正に
我々を救おうと
している…

枝を!?
バカな!!
異常者だ
このユグドラシルを道連れにする気か!?
違う!!
枝を折るのは


枝まわりのシステムを世界樹に掌握されている今……
枝がもたらさんとしている異常軌道を止めるため

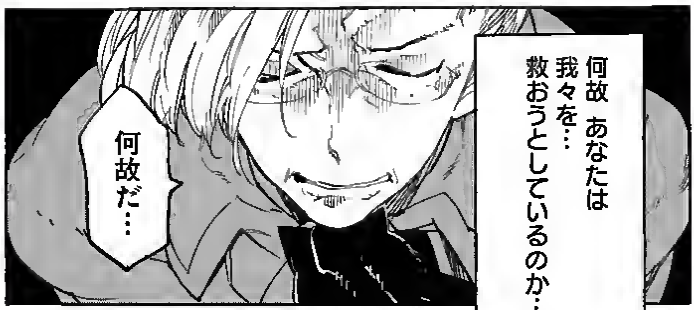
全ては

虐げられ押さえつけられてきた亡命者達を
決起させ枝を襲撃させるための
狂言

強い意志

比べて真実すらわからず

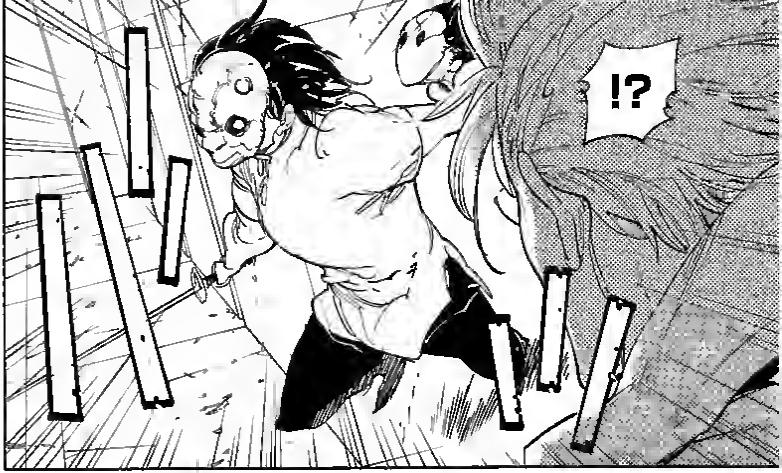
惑うばかりの我々…

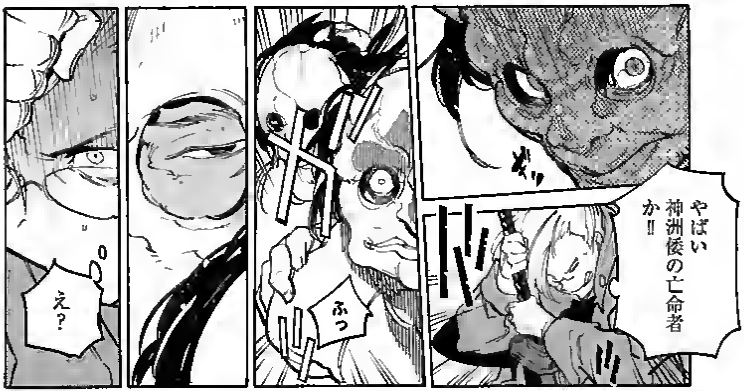


いや…
そんな事
考えてる間はない
超重量の枝の
倒壊となれば
このユグドラシルも
ただでは済まない…
何か手を打た…
七番
隊将

ガラガラ
蘭!!
これを
ギロ
ジン様の
元へ…
てめえは
いけすかねぇが
ジン様の
お気に入りだ

露払いは
しておいた…
神洲倭の連中も
無事に入り込める
はずだ
あいつ
まさか
これを一人で
!?
ガン
ガン
ガン
ちゃんと
届けろよ

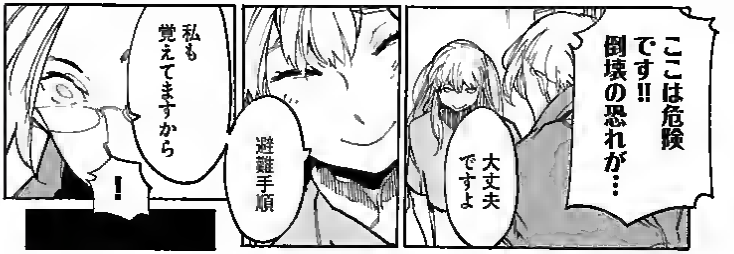

!?


やばい
神洲倭の亡命者
か!!
ぞっ
ふっ
え?

あの目…?
なんだ…
…え…

いや
そんな
場合じゃない
ダダダ
!!
だめだ
やはり ここも
動かないか!!
!!
さっきの
亡命者達か?
はやく避難経路
の算段を
しないと…
その算段は既に
なさってますよ

!!
シンシア様
どうして
こんな所に…
神洲倭の人達の
後についてて…
枝の入口が
崩れていたので
なっ


ここは危険
です!!
倒壊の恐れが…
大丈夫
ですよ
避難手順
私も
覚えてますから
!

ジン様
これ何なんですか?
充分でしょうこれで
避難マニュアル!
この水路を使う
ってのが無理だ
氷の排出に
電気を使ってる
そもそも
別に
俺が用意
されてるのに
バン
だったら
この冶水池を
使えばいいでしょう
よし それで
計算し直せ
なっ

それから
現在の備蓄も
洗い直せ
え――!?
また!?
枝の倒壊

あらゆる雑務
備品・備蓄の管理
帳簿屋の類をみない
重用・出世
すべては この時のため
これが…
あの人の見越した
一つの答え…
ゴゴゴゴ
そんな男を…
失うわけには…
いかない…

ガラ…
どうだい
次代種の副産物だ

ありとあらゆる
人体実験を
試みる必要が
あったのでね
人を生かす
ための実験
だったが
戦向き
こっちの方が
収穫が多かった
くらいだ

……
入り込んだ
亡命者共が
騒がしいな
どうにも

まぁ所詮
副産物
枝の…世界樹の
管理下から離れれば
力を失うが
私と似た
ようなものか

近衛師団も
うまく立ち回れて
いないようだ

だが それも
仕舞いだ

どうですかね…
さすがのリュウマも
「枝」による軌道修正時は散漫になるようで

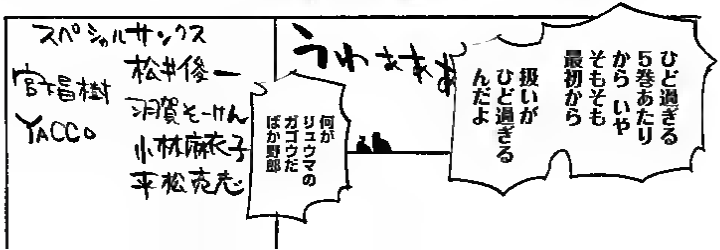
これは…ホノ…
昔。昔のおとぎ話

千年の汚名を
被りながら

みんなみんなを
すくった

「リュウマのガゴウ」⑥／完

リュウマのあとがき
でた…
2コマ
…けど
なんですぐに
過去編みたいなの
始まっちゃうんだよ!!
完全に持って
かれてるもん
こいつに!!
しかも
この展開から
して次の話
「数年後…」
みたいな
感じじゃん
おっさんに
なっちゃう
って!!
少年老い
やすく
光陰矢の
如しだって!!


うわあああ
ひど過ぎる
5巻あたり
から いや
そもそも
最初から
扱いが
ひど過ぎる
んだよ
何が
リュウマの
ガゴウだ
ばか野郎
スペシャルサンクス
松井優一
羽賀そーけん
小林麻衣子
平松克志
B子昌樹
YACCO

少年画報社

http://shonengahosha.jp

電子書籍版

リュウマのガゴウ

6

宮下裕樹

©2015 宮下裕樹／少年画報社

eBOOKで
快適読書生活

http://www.ebookjapan.jp

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.
http://www.ebookjapan.jp